

# 平成19年度決算

平成19年度の各会計決算が平成20年9月に開催された中間市議会で認定されました。  
みなさんから納めていただいた市民税などの税金や地方交付税などの収入で、「元気な風がふくまちなかま」に向けて事業を実施いたしました。

一般会計決算では、収入総額は165億7,776万円、支出総額は158億8,484万円で差し引き6億9,292万円の黒字となりました。

その他の特別会計を含む全会計の決算は、下表のとおりです。

市民の皆さんの生活に密接に関係している一般会計がどのように使われたか、その決算の概要についてお知らせします。

## ●各会計別決算状況

会 計 名	歳 入	歳 出
一般会計	165億7,776万円	158億8,484万円
特別会計国民健康保険事業 (単年度決算額) (前年度繰上充用金)	58億4,484万円	66億1,074万円 (58億9,005万円) (7億2,069万円)
住宅新築資金等特別会計 (単年度決算額) (前年度繰上充用金)	1,256万円	6億2,882万円 (2,722万円) (6億160万円)
地域下水道事業特別会計	9,728万円	9,165万円
公共下水道事業特別会計	21億7,227万円	21億6,918万円
老人保健特別会計	61億6,670万円	61億2,189万円
公共用地先行取得特別会計	94万円	94万円
介護保険事業特別会計	33億4,255万円	32億8,230万円
保険事業勘定	33億727万円	32億4,775万円
サービス事業勘定	3,528万円	3,455万円

※前年度繰上充用金は、前年度の歳入不足額に対して翌年度の歳入を繰上げて充てることです。

## ●一般会計の状況

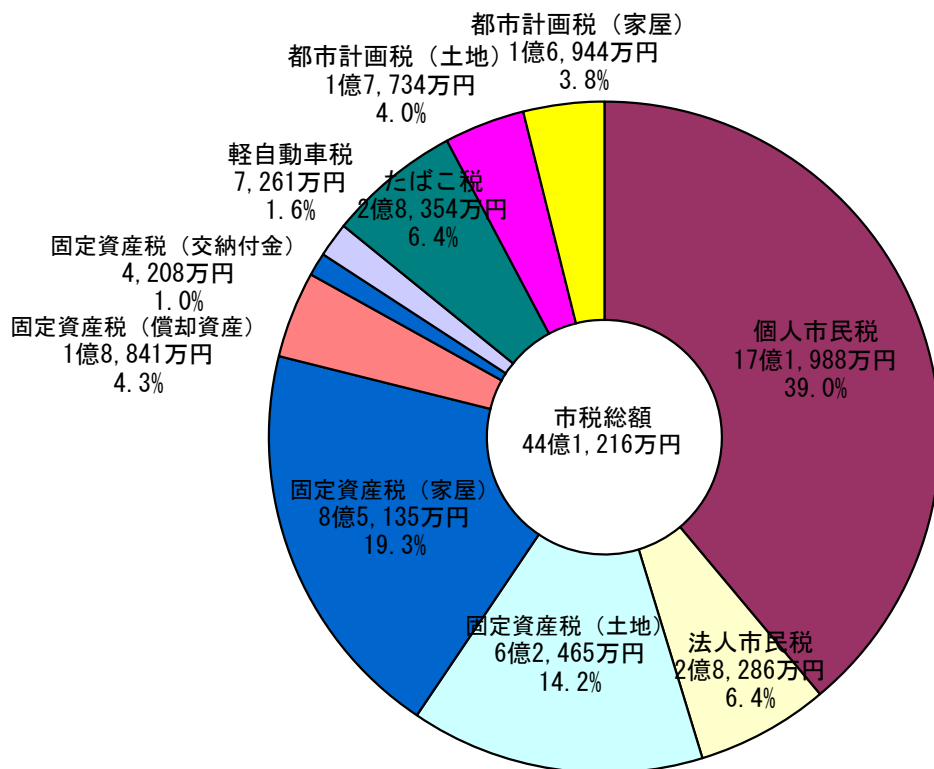
### ○歳入総額 165億7,776万円

市税	44億1,216万円	自主財源 61億7,325万円 (37.2%)	
繰越金	6億8,241万円		
基金の繰入金	4億210万円		
諸収入	2億2,697万円		
分担金・負担金	1億6,451万円		
使用料・手数料	1億4,973万円		
財産収入・寄附金	1億3,537万円		
地方交付税	45億9,370万円		依存財源 104億451万円 (62.8%)
国庫支出金	27億6,132万円		
市債	15億3,330万円		
県支出金	8億49万円		
地方譲与税	1億5,961万円		
地方消費税交付金など	5億5,609万円		

### ○歳出総額 158億8,484万円

福祉サービスの提供など	民生費	72億0,741万円
借入金の返済	公債費	21億3,833万円
市役所窓口サービスなど行政の推進	総務費	18億6,321万円
道路や市街地の整備	土木費	13億6,287万円
保健医療やごみ処理など	衛生費	12億1,856万円
教育の充実に	教育費	11億4,759万円
消防防災対策に	消防費	5億165万円
市議会運営に	議会費	1億9,461万円
労働対策に	労働費	8,944万円
商工業振興に	商工費	8,309万円
農業振興に	農林水産業費	7,808万円

## ●市税収入の内訳



## ●積立金及び地方債現在高 (一般会計)

	平成19年度末現在	住民1人当たり
積立金現在高	30億7,385万円	約7万円
地方債現在高	189億4,582万円	約41万円

【平成20年3月末住民基本台帳人口 46,726人】

## ●健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴い、平成19年度決算から健全化判断比率、公営企業に係る資金不足比率の公表が義務付けられました。

健全化判断比率はすべてが早期健全化基準未達となり、資金不足比率も資金不足額が生じた公営企業会計はありませんでした。

### ○健全化判断比率

(単位: %)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
実質赤字額なし (13.49)	連結実質赤字額なし (18.49)	12.5 (25.0)	135.8 (350.0)

( ) 内は、早期健全化基準

### ○資金不足比率

(単位: %)

公営企業会計の名称	水道事業会計	病院事業会計	公共下水道事業特別会計
資金不足比率	資金不足額なし	資金不足額なし	資金不足額なし

## ●平成19年度決算に係る主な事業紹介

○二タ股・東中牟田線道路改良事業 決算額・・・1億6,088万円  
遠賀町、鞍手町及び北九州市とを結ぶ広域交通ネットワークの形成と共に工業団地周辺の開発の促進を図りました。

○塘ノ内砂山線街路事業 決算額・・・2億3,903万円  
北九州都市圏への幹線道路である塘ノ内砂山線の整備を行い、交通の円滑化を図りました。

○保健センター改修事業 決算額・・・1,953万円  
老朽化の進んでいる保健センターの外壁、屋根の大規模な改修工事を行い利用者がより快適に利用できる施設に改善しました。

○ふくおかコミュニティ無線整備事業 決算額・・・2,674万円  
災害等による緊急時の情報を正確かつ迅速に市民に伝達するため、市内の公共施設16箇所に屋外スピーカーを、また移動局として公用車に車載局1局を整備しました。

○消防団用ポンプ自動車の購入 決算額・・・2,489万円  
前年度まで使用していた消防団用ポンプ自動車2台をより近代的な機能を装備した車両への買い換えを行い、今まで以上に安全で迅速な消火活動をめざし火災防御力の向上を図りました。

○小学校防犯ビデオ設置事業 決算額・・・255万円  
市内の小学校6校の正門と裏門に防犯用ビデオの設置を行い、外部からの不審者の侵入を防止することで、児童の安全を確保し安心して学習できる環境整備を行いました。

○小中学校トイレ、体育館改修事業 決算額・・・7,259万円  
老朽化の進んだ底井野小学校及び中間北中学校のトイレの改善、中間中学校体育館の改修を行い、教育環境の整備を図りました。

○図書館空調設備改修事業 決算額・・・1,042万円  
図書館の空調設備の全面的な改修を行い、来館者の快適な読書環境の向上を図ることにより、文化的な生涯学習活動を推進いたしました。

○小中学校耐震診断調査事業 決算額・・・1,364万円  
底井野小学校の耐震診断を行い、その結果、耐震性が確保されていることが確認されました。  
また、中間東中学校においても耐震診断を行い、診断結果に基づき次年度以降の耐震化補強工事を計画するなど生徒の安全安心の確保を図りました。